

令和5年度

栄小学校 2年生

地域とともにある学校づくり

コミュニティ・スクールの充実

西東京ふるさと探究学習

単元名： えがおの ひみつ たんけんたい
(活動名)

ねらい： ・地域の多様な場所や人々に関わる活動や、身近な人々と伝え合う活動を通して、地域の人々と自分たちの生活との関わりや公共物のよさや働きを捉えたり、相手のことを想像して伝えたいことや伝え方を選んだりすることができ、身近な人々とかかわるよさや楽しさがわかり、地域に親しみや愛着をもち、すすんで触れ合い交流をすることや、適切に接したり安全に生活したりすることができるようにするために本単元を設定した。



【6月5日】
通学路のコースごとに町を探検しました。

普段何気なく通っている場所や遊んでいる場所ですが、よく見てみると公衆電話があることや花が整備されていることなどに気が付きました。



【9月29日】
自分たちの町の店や施設を探検しました。

店や施設の人に質問をしたり、中を見せてもらったりしました。店の人の工夫や苦勞、思いを知ることができました。



【10月2日】
屋敷林に探検に行きました。

西東京市には、自然が残っている場所や古い建物を守っている人たちがいることを学びました。歴史を感じられる時間でした。



【10月20日】
ひばりが丘図書館に探検に行きました。

図書館のひみつを教えてもらったり、職員の方の思いに触れたりしました。市民が気持ちよく使えるようにしてくれていることを実感しました。

まとめ コラム

町や町の人に触れ、自分たちの町にはいろいろなお店があることやいろいろな人がいることを学ぶことができました。子供達が大人になったときに、西東京市を大切し、行動できる人になってほしいと願っています。

お店や施設の方にも学習したことを伝えられたら、更に良かったと感じています。